

第97号

HAKUHOKAI

虹

医療法人 伯鳳会

平成29年7月18日 発行

テロを想定した 爆発災害対応訓練を行いました

一般市民、若者等がターゲットとなる爆破テロが数多く報道されている昨今、東京オリンピック・パラリンピック開催まで3年となり、爆発災害対応の必要性・重要性が高まっています。平成29年6月24日（土）、東京曳舟病院・白鬚橋病院・曳舟文化センターにて、伯鳳会グループ関連医療機関（赤穂中央病院・明石リハビリテーション病院・はくほう会セントラル病院・大阪暁明館病院・あそか病院）及び各関係機関（全日病AMAT隊や、警察、消防、他多数の病院）と共に、テロを想定した爆発災害対応訓練を行いました。

都内某所ではじめの爆発があり、その30分後に白鬚橋病院で2度目の爆破テロが行われ、100人規模の負傷者が発生するという想定で実施しました。

東京曳舟病院では、病院前にトリアージポストを設置し、次々と搬送されてくる傷病者の対応を行う中で、全日本病院協会のAMAT隊による病院支援・病院救急車を用いた地域内外への転院搬送訓練も行われました。

白鬚橋病院では、2度目の爆発が起きた想定で訓練を行ない、爆発後、警視庁により規制線が引かれ、他爆破物の検索や検知が行われました。現場の安全確認が行われたのち、東京消防庁・東京DMAT隊も参入し、特殊救助隊により電動カッターで壁を切断した救助救出訓練が行われました。

曳舟文化センターでの救護所は、緊急医療救護所の立上げ訓練を行いました。墨田区役所、墨田医師会、薬剤師会、柔道整復師会と協働で、病院救急車を用いて地域内外への転院搬送訓練も行いました。

地震・水害などの自然災害への備えは最もですが、東京オリンピック・パラリンピックに向けて病院として備える必要があると感じ、今後の病院防災のあり方について深く考えさせられる訓練となりました。

医療法人伯鳳会は、今後も訓練を通じて関係機関との関係を深め、病院防災、地域防災に望んでいきます。



8月開院！大阪陽子線クリニック

シンポジウムを開催しました

平成29年7月8日（土）、大阪市中央公会堂（大阪・中之島）にて、大阪陽子線クリニック開院記念シンポジウム「自分に適したがん治療を考えるー先進医療で行うがん陽子線治療についてー」を開催いたしました。

第1部では、兵庫県立粒子線医療センター院長・沖本智昭先生より「知って得する陽子線治療」と題しご講演いただき、がんの周辺細胞への副作用が小さい陽子線治療は今後さらに広まり、保険適用になるがんも増えることとなるだろうとお話しされました。

その後、元読売テレビアナウンサーで妻を乳がんで亡くされた清水健さん、タレントの岡部まりさんを交えたディスカッションが行われ、がん治療を考える上での陽子線治療について、専門医・外科医・一般の方・患者家族など様々な観点から意見が出ました。

最後の清水健氏の特別講演「大切な人の『想い』とともに」では、ご夫婦でのがん闘病についてお話をいただき、前を向いて生きていく大切さを教えていただきました。

8月より開院する「大阪陽子線クリニック」では、一人でも多くの患者様の想いにそった診療ができるよう、職員一同取り組んでまいります。



メディアに取り上げて頂きました



近日、大阪陽子線クリニックをメディアで取り上げていただく機会が多くなりました。

テレビ取材は、NHK総合「ニュース」「ニュースホット関西」・ABCテレビ「キャスト」・テレビ大阪「ニュースリアル」、毎日新聞社や日本経済新聞などにもご紹介いただきました。



Honda歩行アシストを リハビリテーション部に導入しました!

この度、リハビリテーション部にHonda歩行アシストという歩行練習機器を導入致しました。Honda歩行アシストは、効率的な歩行をサポートする機器です。歩行時の左右対称性・可動域範囲・歩行速度などを計測し、視覚的に歩行を確認することができます。計測結果をもとに、利用者に合わせて歩行アシストにて、歩容の改善や歩行距離の延長を実現します。

平成29年6月より、病院や介護保険関係施設、訪問リハビリテーションにて実際に使用しております。リハビリテーションスタッフ一同、最新の治療ができるよう努力してまいります。



- ☑ シンプルな構造で、簡単に装着できます
- ☑ みなさんの歩行パターンに合わせた歩きを誘導します
- ☑ 歩行を計測し、よりよい歩き方を提案できます
- ☑ 歩行アシストにより、より楽に、より長い距離が歩けます
- ☑ 歩行をサポートし一緒に道を拓きましょう



新任医師紹介



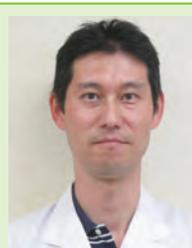
循環器科
山田 幸夫 医師

6月より循環器科(心臓血管外科)に赴任いたしました。治療の流れのなかで、当たり前の手術が当たり前に過ぎて、お元気に退院されます様に努力してまいります。



内科
林 達信 医師

初めての赤穂の地にやってきました。
6月から内科担当させて頂きます。現住所も移し、腰をすえて頑張っていきます。よろしく願いいたします。



耳鼻咽喉科
福田裕次郎 医師

6月から耳鼻咽喉科に赴任しました。
頭頸部腫瘍(がんを含む)を専門としていますが、耳・鼻・めまい全般何でも診療できますので、よろしく願いいたします。

我が家自慢のペット紹介コーナー

第87回目は、Mさん宅のゆずちゃん

名前：ゆず 性別：女の子
年齢：1才 犬種：ミニチュアシュナウザー



まだまだ遊び盛り!毎日寝るまでボールを離さず遊んでいます♪

このコーナーでは皆様からの「自慢のペット」投稿をお待ちしています。どしどしご応募ください。

赤穂中央病院 (基幹型卒後臨床研修病院)

所在地 〒678-0241 赤穂市惣門町52-6
電話 0791 (45) 1111 (代表)

赤穂はくほう会病院

所在地 〒678-0239 赤穂市加里屋字新町99
電話 0791 (45) 1111 (代表)

診療案内

平日 午前9:00~午後12:30
午後3:00~午後6:00
土曜日 午前9:00~午後1:00

診療予約受付フリーダイヤル

0120-891-700

平日 午前8:00~午後7:00
土曜日 午前8:00~午後2:00
日・祝日 午前9:00~午後1:00

午後の診療時間は各科により異なります。ご注意ください。

診療時間・曜日は変更となる場合があります。詳しくは待合室に掲示いたしますのでご覧ください。

不明な点は何なりと職員にお尋ね下さい。

アフタヌーンコンサートを開催しました♪

6月28日(水)赤穂中央病院 本館1階 パイプオルガンホールにて『アフタヌーンコンサート』を開催しました!

この度は、音楽療法士の資格をお持ちのフルート奏者、三澤多加子さん、オルガンはジャズやゴスペルを中心に活動されている大久保和慧さんによる演奏で幕を開けました。

クラシックなオルガン・フルートの音楽から、「夏」メドレー、美空ひばりさんの「川の流れるように」ではみんなで大合唱をして楽しいコンサートとなりました。また、アンコールではジャズにアレンジされた「夕焼けこやけ」を演奏頂き、手拍子が起こるほど盛り上がりました。

コンサートに来られた患者様より「聴きに来て本当に良かった」などとお言葉をいただきました。コンサート委員一同、今後も様々なコンサートを企画して、皆さまに楽しんでいただけるように取り組んで参ります。



蒸し暑い日が続いていますが、体調を崩したりされてはいませんか。夏バテは水分不足や食欲不振、暑い室内での活動等が原因で起こります。防ぐためには、しっかりと栄養を取り、体を休めることが大切です。年々暑くなるこの季節、一工夫で快適な夏にしましょう!

